

## 平成30年度事業計画書

(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

公益財団法人としての6年目にあたり、公益事業のなお一層の拡充のため、各役員会等で情報収集・協議検討を重ね、三重県健康福祉部の指導・監督の下、事業の検討・推進を図っていく。

平成30年度の事業は、前年の内容を継続して次のとおり計画する。

### 1 納骨堂の管理運営事業

納骨堂の使用権の公募活動に関して

- ・年2回行う合同法要をお彼岸の中日（9月23日・3月21日）に行う。  
参加者が多くなったことにより、昨年度より東屋にて開催して、「会場としても広く、落ち着いた雰囲気の中で行われ良かったので、これからも引き続き東屋でやって頂きたい」との声が多数あり、今年度も東屋で行う。
- ・昨年10月の台風大雨により、納骨堂内部に雨が入り、中心部の大理石にかなりの水たまりが出来た。その時に上部に厚手のビニールを敷いたので、その後は雨漏りはないが、少しずつビニールをはがして原因箇所をほぼ特定している。原因箇所が確定になり次第、コーキング等により修繕する。
- ・法事を夜にやりたいとのことで東屋で行うことが何回かあり、納骨堂に行く通路が暗いとの声があったので、歩行者用夜間照明を付ける。
- ・当法人の設立意義の納骨堂の管理運営事業による納骨堂の需要が社会的に増してくることが予想され、なお一層ホームページを充実し、広く存在を公表し、納骨堂の使用権を公募する。

## 2 墓地公園緑地に関する事業

- ・お墓の周りの生垣のつばきが枯れてきてみっともない状態になってきているので、生垣のつばきをやめて枯れにくい白色のサザンカ40株で生垣を作り直す。
- ・昨年度、伐採の専門業者に頼んで檜の木を伐採した際に、通路に敷いてあった一枚のインド砂岩に当たり粉々に割れてしまった。古いインド砂岩は在庫であったので、それを使い修復する。
- ・昨年度、法人敷地内里山の檜の大木が全国的な檜枯れの被害に遭い数本が枯れてきたので、専門家に頼んで伐採した。今年度も残りの枯れてきた檜の木を引き続き伐採する。
- ・26年度に植栽した1000本の雑木が3m近くに成長し、描いていた里山になってきているが、日常の管理を徹底して成長を促していく。
- ・毎年6月恒例の行事になってきている、いがまちまちづくり協議会主催の「あじさいウォーキング」が散策しているが、今年度も引き続き受け入れて楽しんでもらう。

## 3 その他、本会の目的を達成するために必要な事業

公益財団法人としての6年目に向かい、書類の作成、会計帳簿等をその基準に対応して、コンプライアンス・情報公開を念頭に遵守していく法人としての確立を目指す。